

## 防災の三助 (自助・共助・公助)

理事長 月岡 亮

世界的なパンデミックは私たちの生活に大きな影響を与えました。その影響から徐々に脱し、私たちの生活はコロナ禍以前の状態に戻りつつあります。互いに助け合い、困難を乗り越えてきた結果ではないでしょうか。社会の行動制限が緩和され、私たちの日常も明るく変化していることを感じることができるのは幸せな瞬間です。

しかしながら近年、暗い悲しいニュースがたくさんあります。地球は自然の驚異に晒されて地震、山崩れ、大雨、洪水と温暖化の影響なのか天変地異、不幸な出来事に遭遇します。「災害大国」でもある日本では昔から「災害は、忘れた頃にやってくる」と言いますが、ここ数年の自然災害や異常気象は「災害は忘れる間もなく起きる」こ



社会福祉法人つるかわ学園  
つるかわ学園を支える会  
番号195-0051  
東京都町田市真光寺町  
186番地  
TEL(042)735-2220  
FAX(042)736-6374  
HP:tsurukawa-gakuen.com

身を守り、身近な人を助け、さらには地域に貢献できる人、組織でありたいです。

## 通勤寮事業を 幅広く発信!!



町田通勤寮 外観

小・中学校では、災害教育の一環として「三・一一を忘れない」という教材があります。この言葉は、被災地だけに当たるものではありません。私たちが住む東京は、過去に関東大震災を体験し、近い将来、首都直下型地震の発生も想定されています。これまでの大規模災害の記憶を忘れず、防災意識を高め、いざというときに自分の関係機関への働きかけに加えて、



支援学校にて説明会

隣接している神奈川県の支援学校へのアピールを積極的かつ継続的に行っております。今まで神奈川県の支援学校とはお付き合いがありませんでした。通勤寮のサービスを初めて知り、「皆さんにとって必要なサービスですね。」との意見を多くの先生方から頂きます。ご縁あって、この春に神奈川県の支援学校を卒業した方が町田通勤寮に入寮し、自立への練習を開始しました。また、相模原工リアの支援学校保護者会でのプレゼンテーションの機会も頂きました。地域で自立した生活を送るために選択肢として通勤寮を認知してもらえる取り組みを関係機関の皆様のご理解とご協力を賜りながら継続していくたいと思います。

町田通勤寮

サービス管理責任者

大熊 祐一



## 各イベント紹介





六月六日、好天に恵まれ、あじさいまつりを開催することができました。

薬師池公園へあじさいを見に行ったり、館内でボウリング大会をしたりと、利用者さんたちの心身のリフレッシュを図ることができるようにレクリエーションを行いました。

**担当 窪谷 美咲**



終了後は皆でアイスやコーヒーを味わい、賑やかな一日を過ごしました。今年度最初の行事として、皆さんが楽しく参加できたことを嬉しく思います。



終了後は皆でアイスやコーヒーを味わい、賑やかな一日を過ごしました。今年度最初の行事として、皆さんが楽しく参加できたことを嬉しく思います。

担当 武藤 崇司

援スタッフの協力により、無事に終えることができました。

毎食は豪華メニューで、皆夢中で食事されていました。午後は、かき氷や綿あめを食べながらゆっくりと談笑に浸りました。また、個性豊かな踊りを披露しながら夏の暑さを吹き飛ばしました。

恒例の夏祭りを開催致しました。例年に比べ暑さを増しましたが、それに負けじと祭りの方も大盛り上がりました。

## 夏祭り

## あじさい祭り



受講者からは、その感想として、大変有意義な講座であったとの感想もいただきました。今後も地域の福祉ニーズ等を踏まえ、つるかわ学園として、自主性、創意工夫をした地域活動に取り組んでいきたいと思います。

講座内容としては、医務講習（障害を持つ人がどのような医療のサポートが必要か）、口腔ケア講習（知的障害者の高齢化と食事支援、実際に提供している食形態を試飲する等の体験）、ボランティアの役割と障がい理解（地域福祉の流れや障害福祉施策の歴史）、最後のプログラムとしては、「糸賀一雄氏の「ラストメッセージ」この子らを世の光に」を鑑賞しました。まとめとして、お互いに感想を共有し、学びを深めることができました。

## 令和六年度 地域公開講座2024開催

令和六年八月八日（木）・八月二十一（水）地域公開講座を開催いたしました。

これまで、約二十年に渡り、ボランティア講座として開催してまいりましたが、地域への情報発信や地域へ還元する取り組みを地域住民の皆様に向けて行いたいと考え、今年度より「地域公開講座」と名称を変更いたしました。

これまで、約二十年に渡り、ボランティア講座として開催してまいりましたが、地域への情報発信や地域へ還元する取り組みを地域住民の皆様に向けて行いたいと考え、今年度より「地域公開講座」と名称を変更いたしました。

これまで、約二十年に渡り、ボランティア講座として開催してまいりましたが、地域への情報発信や地域へ還元する取り組みを地域住民の皆様に向けて行いたいと考え、今年度より「地域公開講座」と名称を変更いたしました。

## 靴販売

六月二十八日、つるかわ学園にて、株式会社チヨダ様による靴訪問販売サービス「HOME de SHOES（ホームでシューーズ）」を利用して頂きました。

利用者さんが足に合わない靴を履いて転倒・靴擦れ等をしないよう、靴選びには日頃より苦慮しておりましたが、シューフィッターさんのサポートもあり、「足に合った靴を選び、購入すること」が出来ました。また、店舗に来ているような雰囲気を施設内で味わうことが出来、利用者さんにも嬉しい様子が感じられました。

担当 清水

保



## 新任紹介

徳永 真樹子

つるかわ学園

五月から入職した徳永真樹子と申します。学園は、笑顔が素敵な利用者さんばかりで、毎日楽しく仕事に取り組むことが出来ます。利用者さ

んの生活が豊かになるよう支援していきたいと思っています。

ゆっくりとした性格と言われますが、一日も早く皆さまのお役に立て、努力を重ねてきますので、どうぞよろしくお願い致します。

### ふれあいまつり開催のご案内

つるかわ学園では、コロナ禍で地域行事を制限しておりましたが、今年度は、「つるかわ学園ふれあいまつり2024」を令和6年10月20日(日)十時から十四時に開催いたします。(雨天の際は、中止となりますので、ご了承ください。)

ふれあいまつりの中では、ミニ福祉バザーを開催する予定です。協力品のご寄贈をいただければ大変有難く存ります。大変恐縮ですが、諸般の事情により受領にお伺いする」とは叶いません、事前に電話して頂き、直接学園にお持ち頂くか、お手数ですがご郵送くださいますようお願いいたします。

当日は、ミニ福祉バザーの他、他福祉事業所の販売ブース、利用者の作品展示、パン工房もくもくてんのパン、キッチンカー等、楽しんでいたげる企画を準備してお待ちしております。

### 寄贈品電話受付期間

八月五日(月)から十月五日(土)  
受付時間(九時三十分から十七時)

### お受け取り品目

食品・新品タオル・新品食器・新品日用雑貨・新品衣料・新品文具・新品小型家具

※右記の品物以外は、お受け取りできません。なお物品の受領状況によりお断りする場合もありますので、ご了承下さい。

### つるかわ学園を支える会ご案内

「支える会」について  
国家的財政困難と世情不安定の中  
にあって、施設も苦しい状況に置かれています。私達は私達なりに苦し  
さの中にあっても福祉を支える者と  
して努力を惜しまず頑張っています。

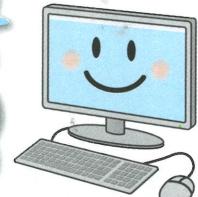
今一步の力の支えをこうした形で求  
めるのは本当に心苦しいのですが、  
市民の皆様の小さな善意はやがて大き  
な力を生む礎となる事をお約束し  
ます。  
どうか「つるかわ学園」を支える  
会にご入会し力を添えてくださいま  
すようお願い申しあげます。

### 会費

「つるかわ学園を支える会」の会  
費は、一ヶ月額三千円ですが、ひと  
りで何とか入っていたくことを歓  
迎、お願いしております。  
会員の方々には、毎年三回発行す  
るつるかわ学園の機関誌「つるかわ」  
をお送りし、学園の様子を続けてご  
報告するとともに、この人達の幸せ  
を願う者同志としての親交を深めま  
す。

### 入会方法

入会してくださる方は、振込用紙  
を学園にご請求下さい。



### 連絡先

〒195-0051  
住所：町田市真光寺町186番地  
電話：042-735-2220  
社会福祉法人つるかわ学園事務局

### つるかわ学園ホームページ

日常のようす、行事のお知らせ等がご覧になれます

アドレスはこちる!!  
HP : [tsurukawa-gakuen.com](http://tsurukawa-gakuen.com)



加入者  
社会福祉法人 つるかわ学園



振替口座番号  
〇〇一一〇一七一九四〇一九